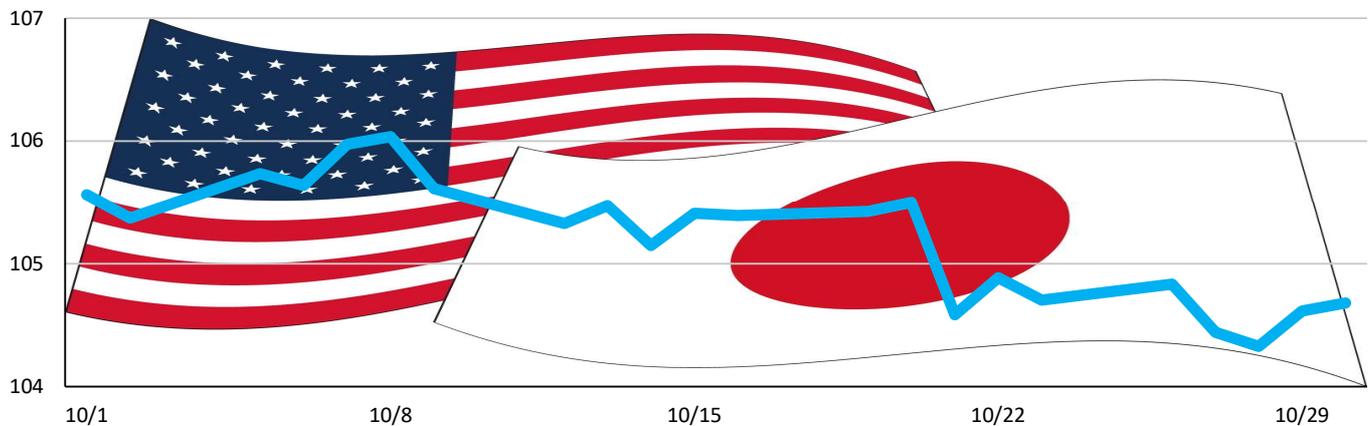


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 10月のドル円相場は106円前半～104円前半で推移。トランプ米大統領が新型コロナに感染し、症状について情報が錯綜したものの、快方に向かっていると報じられると悲観論は後退し、ドル円は106円台を回復した。その後、欧米で新型コロナ感染者が再び急増してきたことで、リスク回避の動きが鮮明となり、クロス円を含め円高が進行。月後半にかけて米国の追加経済対策の協議が難航していることや米大統領選情勢の混迷、さえない米国株の動きなどで104円台前半まで円高が進行したが、良好な米経済指標発表やユーロに対するドル買いもあり、ドル円は104円台前半まで回復し取引を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 執筆時点で米大統領選の最終結果は判明していないが、期日前投票分が史上最多1億人以上で、そのうち6000万人以上が郵便投票を行っていることから、その集計結果が注目される。さらに郵便投票分の集計次第では結果が確定するまで時間を要するとも言われており、注意しておきたい。もう一つの材料として新型コロナ感染者が増えてきていることが気がかりだ。一部の国では再度ロックダウンを実施しており、この動きが拡大してくるとリスク回避の動きが一段と強まる可能性も否定できない。ただ各国の経済対策次第では、ある程度持ち直して推移することもあり、このあたりの見極めが必要となっていくそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 17 (火)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
11 / 25 (水)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
12 / 2 (水)	22 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
12 / 4 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
12 / 8 (火)	8 : 50	JP	日GDP改定値	☆☆☆☆
12 / 10 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
12 / 10 (木)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。